

三条別院のご案内

三条別院に想う

▲今回は、別院書道教室に、新潟市から毎月、通っていたにいて、前二十組副組長の天児氏より執筆いただきました。

三条別院書道教室東友会に入会して三年が経ちました。還暦を迎え定年退職を契機に苦手ではあっても任職として避けることのできない毛筆を基礎から習いたいと思っていたところ、たまたま大学時代の寮の先輩にお会いする機会があり、この書道教室を紹介していただきました。教室の会場が三条別院であったこともこの書道教室に入会した大きな理由です。「真宗宗歌」ではじまり、「恩徳讃」で終わる教室に書道ができる有難さを感じることができました。別院の報恩講の案内板書きのお手伝いも別院での教室ならではないこととうれしく思えます。

教室は月二回、十八時三十分から二十時までの一時間半です。集中して取り組むこの時間はあっという間に過ぎてしまいます。最初に『氷』という漢字を半紙いっばいに書くところからはじまりました。横線は三十度に筆を入れる、縦線は四十五度、止め、はね、右払い、左払いなど書道の基本が『氷』という一文字にすべて含まれているということ講師の木原光威先生から優しくわ

真宗大谷派三条別院

TEL : 0256-330007

Email : sanjo_betsuin@vodafone.jp

かりやすく丁寧に教えていただきました。現在は毎月出される課題に取り組んでいます。基本の楷書だけでなく行書、草書の三種類の書体を提出します。半紙に漢字五文字をバランスよく書くことが難しく、よく先生から朱墨で直していただきました。最初に教えていただいた基本は常に意識しているつもりですがそれをつい怠ったり、雑になってしまうところも丁寧に指摘していただけます。そして何より沢山褒めていただく先生のおかげで私のやる気も倍増です。新潟市内に帰る車での五十分は毎回充実感でいっぱいになります。先生から朱墨で直していただいた書は私の財産になっています。

まだまだ未熟な私ですが条幅に力強く堂々とした作品が書けるようになることを目標にこれからも書道教室に通い続けたいと思います。皆様も三条別院書道教室東友会に入会してみたいかがででしょうか。

天児 匡氏 (第二十組誓林寺住職)

あなたも、別院書道教室に参加しませんか？

▲三条別院書道教室(東友会)は毎月二回第二、第四水曜日に開催しています。時間は午後六時三十分〜八時まで。

講師 木原光威先生(新潟県書道協会理事)

月謝 三,二〇〇円(テキスト代含む)

見学自由です。ぜひお気軽にご参加ください。



【条幅教室で大きい紙に挑戦する天児氏】

○次回の「三条別院に想う」は、

中富 正純氏(第二十三組福照寺)

よりご執筆いただきます

▲次号は三条声明会としてお取り越し報恩講をはじめ三条別院の法要・儀式に長く携わり、また二十三組の新組長に就任された中富氏に、執筆をお願いしました。

**宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年
立教開宗八百年慶讃定例法話会**

毎月十三日の闡如上人のご命日の定例法話会を宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃お待ち受け事業として昨年より継続しております。

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていく

十二月の講師は平等良香（たいらながこ）氏（福井教区徳永寺）でした。慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていく」の講題で、特に慶讃事業の教化重点施策の一つである「真宗の仏事の回復」についてお話しいただきました。浄土真宗の儀式は「従果回因」であり、仏様の願いが結果として表現されていて、その意味を確かめていく必要があるとお話しされ、慶讃テーマソングを実際に歌いながらお話しされました。法話の後に、旧御堂で座談会も行われました。



【平等 良香氏】

◆一月の定例法話は休会となります。

◆二月の講師

渡邊 学氏（第二十三組明正寺）

◆日時 二〇二三年二月十三日（月）

午後一時三十分より

午後四時三十分

（勤行、座談あり）

※講師のご都合で、当初の予定から、二月・三月の講師が入替えになっておりますのでご了承ください。

◆今後の講師

二〇二三年

三月 田澤 一明氏（第十九組明誓寺）

四月 黒田 進氏（長浜教区満立寺）

五月 井上 円氏（高田教区浄泉寺）

六月 藤場 芳子氏（金沢教区常讃寺）

御煤払い奉仕団報告



【御本尊の御煤払い、続いて宗祖真向の御影】

去る十二月十八日、第十八組が中心となり御煤払い奉仕団が開催されました。新型コロナウイルス感染症が流行する前は一泊研修会でしたが、二〇二〇年より半日の奉仕となりました。浄圓寺住職による御本尊と宗祖真向の御影の御煤払いの後、参詣者による堂内の梁の清掃や、内陣清掃が行われました。その後富樫大樹氏（第十七組妙音寺住職）が、仏弟子、周利槃特（しゅりはんどく）が掃除によって覚りを得たお話をされました。御煤払いは修正会をお迎えする準備の一環と言われます。清掃が終了し一息ついたのも束の間、朝から突然積もりだした雪が昼には膝まで積もっているではありませんか。そんな中足を運んでいただいたご寺院、ご門徒様、ありがとうございました。今年は今後も県内に寒波が来るといいう予報です。御煤払いとともに、いよいよ本格的に長い新潟の冬が始まりそうです。例年のことではありませんが、新潟県の修正会の準備の大半は、参詣者をお迎えする「雪かき」が締めることになりそうです。



【梁の清掃。鳥が運んだ葉っぱが落ちる】

有志の会庭講より活動報告

今年最後の活動で、大雪に備え冬囲いと消雪設備の準備をしました。年明け後の一月の活動はお休みで、二月は年間の活動計画会議の予定になっています。



【別院境内地に積雪。庭講の皆さん冬囲いお疲れ様でした】

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に「御命日のつどい」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお逮夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

◆日時 二〇二三年一月二十八日（土）
午前十時より

◆会場 三条別院 本堂

◆お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

石塚祐堂氏（第十五組長泉寺）

▲二〇二三年も身近な御聖教である『御文』五帖目について継続して、聞いていく予定です。

◆今後の講師一覧

二月 海岸秀道（三条別院輪番）【年頭云】

三月 橘 宗真氏（第二十組顯了寺）

フードバンクを継続中

匿名含め多くの方々に協力いただき御礼申し上げます。次回引き取り予定日は一月二十四日（火）です。

その他の講座案内

○別院書道教室（生徒募集中！）

【月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時】

講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）

月謝 三、二〇〇円（テキスト代含む）

随時募集中

○有志の会庭講「毎月十三日」

ご一緒に別院のお庭を整備していきませんか？

○有志の会花講

花講は別院の立花を、有志の会は別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

○三条別院巡回

三条別院から御本尊（絵像）をお迎えして、聞法会を開催しませんか？

○別院奉仕研修について

半日の奉仕研修等にも対応しております。

◆編集後記◆

この編集後記を書いている十二月二十日現在、新潟県では記録的な大雪で大変な状況である。配送は停止してお店から品物が消え、国道は立ち往生の車であふれかえり、県内のかんりの地域で停電が続いている。ひとたび大雪が降ると、私たちが「当たり前」だと思っていた日常など簡単に崩れてしまうのだ。

これは何も大雪に限ったことではない。先日、今年の漢字が「戦」に決まったというニュースを見たが、今世界のさまざまな場所で「戦」によって「当たり前」の生活ができない人たちがたくさんいる。しかし、そういうニュースに触れてまず思うのは、「自分じゃなくて良かった」ということまでも自分本位な考えしか出てこないのだから。いつ崩れるか分からない「当たり前」がこれからもずっと続いて欲しいという都合の良い思いが、当たり前でない大雪で明らかにされた。

（小原）

【予告】宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法

三条別院団体参拝募集

各組・寺院の団参に申込できなかった方等を主な対象に、別院でもバスを用意します。
ぜひ一緒に参拝しましょう。

五〇年に一度の慶讃法要



日時 2023年4月14日(金)～16日

1月末の全寺院発送にて、募集開始予定、参加費 68,000 円程度(未定)、定員 30 名

～別院団体参拝のポイント～



1 別院列座が引率で、第2期法要初日(15日)の伝統法要に参拝。



2 御影堂の中央席を確保。



3 国立博物館親鸞展他、春の京都観光します。

Shinran
S50th
S00th